

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***2022. 12. 28**☆

60 歳からの人生を準備するための
【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

**よく相談いただく「お困りごと」解決集 ~2~
＜NISA や IDeCo の元本割れの心配 編＞**

発行者：牧野 F P 事務所合同会社代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***通算第 527 号***☆

<目次>

- ◆ 今週のテーマ
- ◆ 今週のポイント
- ◆ 編集後記
- ◆ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

:

- ◆ 今週のテーマ

**よく相談いただく「お困りごと」解決集 ~2~
＜NISA や IDeCo の元本割れの心配 編＞**

:

前回から、私のところによく相談いただく
「お困りごと」、いわば
みなさまの「お困りごと」についての
基本的な解決策を、お伝えいたします。

2 回目の今回は、
「NISA や IDeCo と元本割れの心配」です。

投資資金の元本割れと資産形成について
考えていきます。

この記事の構成です。

- ・本来、金融商品には元本保証はない

- ・ リスクを考慮して投資をする
- ・ 元本保証の例
- ・ 実際のリスクとは
- ・ リスクを許容できる尺度
- ・ NISA と IDeCo の特徴

本来、金融商品には元本保証はない

金融商品の中で、投資したお金、元本（がんぽん）分のお金が減らない保証が、されている金融商品は、

- ・ 銀行の預貯金
- ・ 個人向け国債
- ・ 一部の保険商品

など、限られています。

つまり、株式や投資信託、債券に代表される世の中に出回っているほとんどの金融商品に、投資するお金の元本は、保証されてはいないのです。

リスクを考慮して投資をする

また、金融商品にはリスクがあると、恐れている方がいます。

金融商品でいうリスクとは、

たとえば、ある会社の株式に投資したら、100万円の収益が上がることもあれば、反対に、100万円の損失を出すこともある。

言い換えれば、最大で100万円儲かるかもしれないし、100万円損するかもしれない、

投資することの損益に、この幅の「ブレ」が、
生じる。ということです。

このリスクを考慮しないで金融商品に
投資をしないと、
収益を確保することは難しいです。

元本保証の例

また、元本が保証されているということは、

たとえば、銀行の定期預金に、
毎月2万円ずつ積立て、
お金を貯めていくことを考えます。

毎月2万円ずつ貯めていけば、

- ・1年間で24万円
- ・10年間で240万円
- ・30年間で720万円

お金が貯まっていきますし、
若干ですが利息が付きます。

この利息が年0.002%付けば、
毎月2万円ずつ積立てていくと、

- ・1年間で24万3円（うち利息分3円）
- ・10年間で240万242円（うち利息分242円）
- ・30年間で720万2166円（うち利息分2166円）

となり、30年間で2166円の収益を得ることができ、

この預金を積立てる資金、
つまり元本も保証されているのです。

実際のリスクとは

また、銀行に定期預金をした資金と同額の2万円を、
同じ期間リスクのある金融商品、

ある会社の株式に投資したとします。

上記の銀行の定期預金の金利の 100 倍、
平均年 2.0% で運用できたとすると、

- ・ 1 年間で 24 万 400 円（うち収益 400 円）
 - ・ 10 年間で 235 万 6316 円（うち収益 25 万 6316 円）
 - ・ 30 年間で 984 万 1497 円（うち収益 264 万 4197 円）
- となります。

たとえば、
10 年間で、25 万 6316 円の収益が上がれば、

反対に、10 年間で同じ額の 25 万 6316 円、
損するかもしれない。

このブレがリスクです。

また、前項の銀行の定期預金と比較すると、
定期預金では、利息を含めて、
10 年間 2 万円ずつ貯めていけば、
240 万円 242 円貯まりました。

しかし、株式に投資をすれば、
上記のように、10 年間で、
25 万 6316 円が上がる可能性もあれば、

定期預金で貯めていくより、
240 万 242 円（定期預金残高）
－ 25 万 6316 円（損失の仮定額）
＝ 214 万 3926 円

定期預金でお金を積立てていくより、
家計の資産が減る可能性のあるのです。

なお、この会社の業績が良ければ、
株式を保有している期間、
配当金も受けることができるかもしれません。

リスクを許容できる尺度

さて、このようなリスクと、
どのように向き合えばいいのでしょうか。

- ・そもそも、元本が割れる金融商品に、
毎月2万円ずつ投資をしても、
家計収支に問題は生じないのか？
- ・なぜ、2万円という金額に決めたか、
家計から毎月2万円の出費は妥当なのか？
- ・どのくらいの利回りを期待して
(上記のように年2.0%)、
何年間投資を続けて、
いくら収益を得る予定か？
- ・損失額は、いくらまで許容できるか？
- ・損失が続き、元本を割り込む時期が続いても、
動揺しないか、
またそのときに、どのような行動がとれるか？

といった、将来にわたる家計の収支や
投資をするその方自身のメンタル、
これらの許容度の尺度を知ってから、

元本が保証されていない金融商品に
投資を始めていくことも、
損失が出た時に、
家計にも、その方のメンタルにも、
ダメージを被らないために大切なことです。

もっとも、実際の投資では、
10年以降もこの会社に投資を続けて、
株価が持ち直すこと、

また、株価が低迷し続けると、
損切りをして損失を確定して、
この会社の株式を手放すかもしれません。

とはいっても、
このような行動を行えるかは、
リスクを許容できる尺度で決めていくものです。

NISA と IDeCo の特徴

このリスクを許容する尺度は、
家計の収支や投資の経験によって、
変わっていくものです。

そこで、投資を始める手がかりとして、
ここのところ話題に上っている、
NISA と IDeCo を利用してもいいでしょう。

最後に念のために、
すでにご存じの方もみえるとは、
と思いますが、
NISA と IDeCo の特徴について確認いたします。

NISA（ニーサ：小額投資非課税制度）とは、

通常、株式や投資信託などの金融商品に投資して、
売却した時に得られる利益や配当金収益には、
約 20%の所得税と住民税がかかります。

しかし「NISA 口座（非課税口座）」内で、
毎年一定金額の範囲内で購入した金融商品から、
得られる利益や収益が非課税になる制度です。

2024 年からは制度改革が予定されています。

詳細の仕組みは、金融庁の HP「[NISA とは？](https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/index.html)」を
<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/index.html>

参照してください。

また、IDeCo（イデコ：個人型確定拠出年金）とは、

掛金、運用益（定期預金、保険商品、投資信託を運用）
そして給付を受け取るときに、税制優遇措置のある
私的年金な制度の事です。

詳細の仕組みは、国民年金基金連合会のHP

「[iDeCo ってなに？](#)」

<https://www.ideco-koushiki.jp/guide/>を
参照してください。

ふたつの制度も、
あらかじめ定められて金融商品を運用したとき、
税制の優遇のある制度です。

しかし、一部の金融商品を除いて、
元本割れする金融商品に投資して運用します。

従って、リスクの許容度を図りながら、
元本が保証されていない金融商品に、
投資を始めるには、
利用してもいい制度だと思うのです。

なお、このシリーズは次のように、
進めてまいります。

1. 年金の受給額に間違いはないのか（前回）
2. 退職金で住宅ローンを完済してもいいのか（前回）
3. NISA や IDeCo と元本割れの心配（今回）
4. 保険に入る本当の理由がいまひとつわからない
（次回以降）
5. 住宅は所有すべきか賃貸でいいのか（＃）

..*.*.*.*.*.*.*.*.*

◆ 今週のポイント

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

リスクがもれなく付いている

金融商品に投資することは、

資産形成の基本、

としましょう！

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

◆ 編集後記

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

資産運用をする金融商品に、

元本が保証されている金融商品は、

「ない！？」

「……！？」

☆ 次回は、2023年1月11日に発行いたします。

来年もご愛読の程、
よろしく願いいたします！

*:

◆ 「人生の添乗員 (R)」 牧野寿和のプロフィール

*:

日本で唯一「人生の添乗員 (R)」を名乗れる
公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー
創業 20 年目
1958 年 名古屋市生まれ、大学 (東海大学卒業)
以外は、名古屋で居住。

1982年～2001年 旅行会社に勤務。
業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々の
お金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、
初めてファイナンシャルプランナーの
存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003年 牧野FP事務所を創業。
2018年から牧野FP事務所合同会社を設立。
これまでに、
延べ1100件以上の様々な相談に対応。

相談者へのプランニングの助言と提案を
主な業務とし、
相談者に、安心できる生活が送れるように、
丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ (FP)
協会 CFP (R) 認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士
(資産設計提案業務)
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ (名古屋テレビ) 「UP！」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない!
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより愛知、岐阜、三重県、首都圏や関西にもリモートでお会いする機会が増えました。

「人生の添乗員（R）」は、他人を気にすることなく、相談者ご自身にとって有益な提案を心がけています。

◆ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

◆登録・解除は、ご自身でお願いいたします
こちらから出来ます

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

◆本メルマガに関するご意見・お問い合わせは
こちらまでお願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社

公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

◆記事内容に関してのトラブル等について当方では
一切責任を負いかねます
ご自身の責任でご判断下さい

「人生の添乗員」「人生の行程表」は、
牧野寿和の登録商標です
